

## 1. はじめに

この取扱説明書は、手動工具 1762789-1 の取扱いと保守について説明するものです。

作業にとりかかる前に必ず本説明書をお読み下さい。

注意； この工具は端子をプレートに仮留するための工具です、圧着はできません。

## 2. 工具の構成

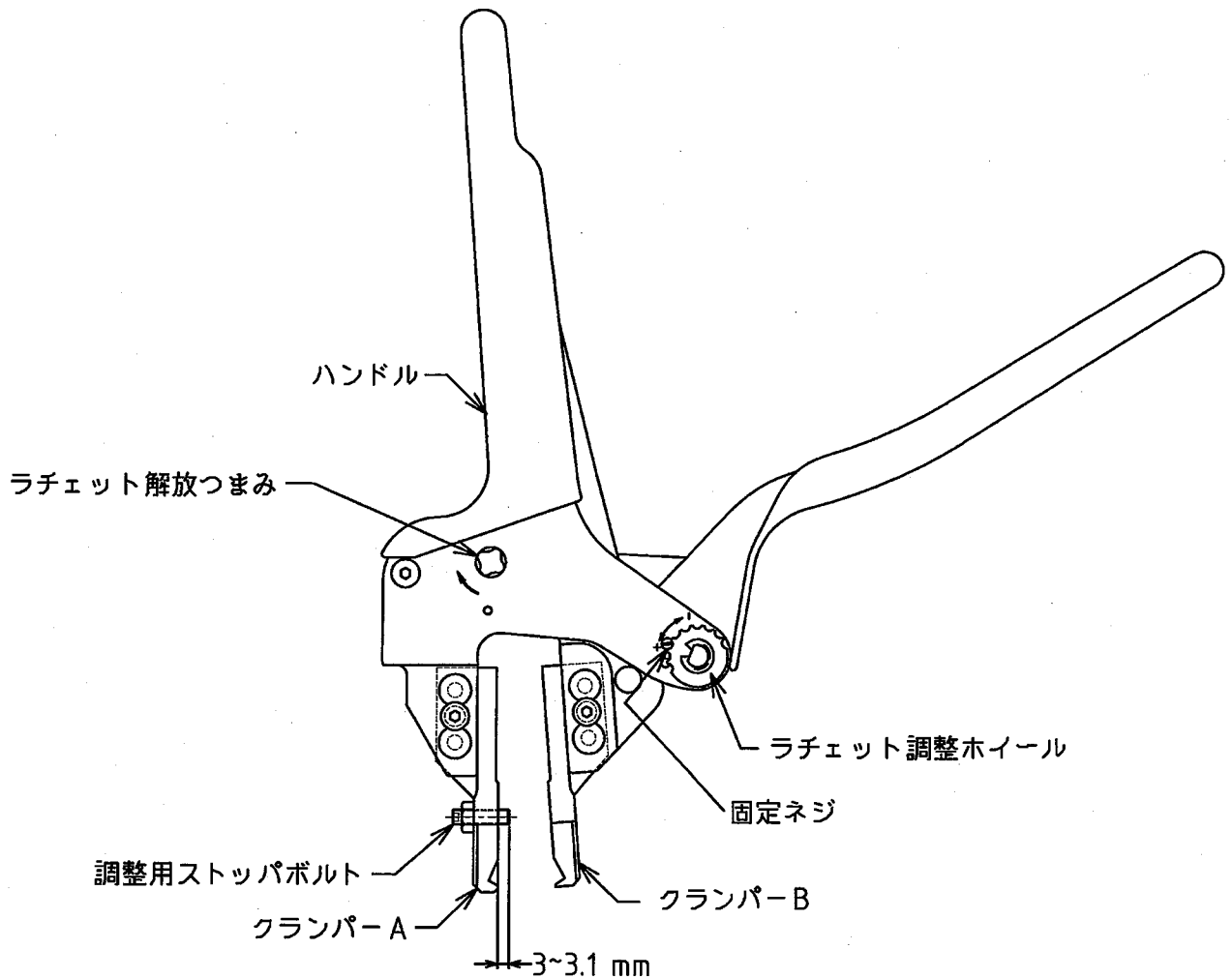


FIG.1

## 3. 適用端子

P/N 51943 TERMI-FOIL バラ端子を使用。

## 4. 外形寸法と重量

外形寸法； L240mm X H96mm(ハンドル開時 230mm) X D30mm

重量； 約 650g

## 5. 圧着の手順

- 1) 端子、使用する工具の型番を確かめます。
- 2) 端子のタブを手で持ち、クランパーA、クランパーB の溝に乗せます。端子の圧着部がクランパーA,B の幅からはみ出ないように注意してください。
- 3) ハンドルをゆっくり握ってラチェットが1回カチリと入ったところで一度ハンドルを閉じるのをやめます。  
 (この時の端子の閉じ位置が端子をアルミ板に入れ込める隙間です。)
  - ・ラチェットが入った後、途中でハンドルを開きたい時は、ハンドルを軽く閉じながらラチェット解放つまみを時計回りに回すとラチェットが解放されハンドルが開きます。
- 4) この状態でアルミ板に、端子を奥まで真直ぐ差込み、再度ハンドルを閉じます。
- 5) ハンドルをストッパーボルトに当たって、ラチェットが解放されるまで締め付けると仮圧着は完了します。
- 6) ハンドルを開き、作業は終了です。

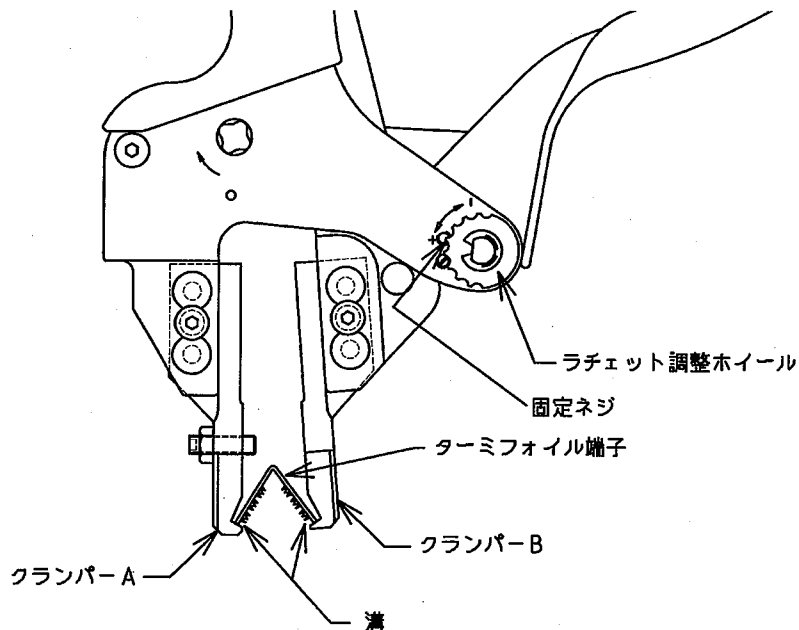


FIG.2

## 6. ハンドルを閉じた時(下死点)のラチェット解放位置の調整(FIG.1 参照)

- 1) ラチェット調整ホイールの固定ネジを外し、ラチェット調整ホイールをマイナスドライバで回し調整をします。
- 2) ラチェット解放を遅くする場合……ラチェット調整ホイールを時計回りに回します。  
 ラチェット解放を早くする場合……ラチェット調整ホイールを反時計回りに回します。
- 3) 固定ネジを取付け、ラチェット調整ホイールを固定します。

## 7. 日常の保守管理

使用後は工具を清潔で柔らかな布で拭き、圧着部の異物は清潔で柔らかなブラシで取り除いて下さい。

工具に傷をつけるようなもので清掃する事は絶対にしないで下さい。

使用しない時は異物が入らないように工具のハンドルを閉じ、清潔で乾燥した場所に保管して下さい。

## 8. 目視検査

クランパーA、クランパーB が磨耗、損傷していないか定期的に検査をして下さい。工具全体を目視にて検査し、特に圧着部分が扁平化、破損、磨耗していないか調べて下さい。もし異常な磨耗等が発見された場合は工具を交換して下さい。

工具の修理、調整、部品交換に関しては、当社の本社、支店、営業所又は代理店にお申し付けください。